

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成29年10月分）

【景況感】

景気は、緩やかに回復している。

【製造業】一部で弱さも見られるが、全体としては持ち直しの動きが継続

○製造業は、一部の業種で鉱工業生産指数に弱含みがみられるものの、輸送用機械をはじめとして底堅い推移がみられる。自動車産業を中心に好調を示すヒアリングも多くみられており、全体としては上向きの動きが継続している。

【地場産業】厳しい状況が継続しているが、一部に持ち直しの動きもみられる

○地場産業は、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続しているが、輸出など一部に持ち直しの動きも見られる。

【設備投資】投資意欲は上向いており、底堅く推移している

○設備投資は、設備投資意欲DIには改善がみられ、国内の金属工作機械受注額は前年同月比で大幅に増加するなど、業績な好調な企業を中心に設備投資意欲が高まっている。一方で地場産業や中小企業には設備投資に後ろ向きな姿勢も見られる。

【個人消費】消費は一部に弱さがみられるが、緩やかに回復している

○個人消費は、新車販売台数（軽自動車含む）は引き続き堅調な推移を見せ、大型小売店の販売額も前年を上回るなど、持ち直しを見せている。また、現金給与総額や実質賃金についても2ヶ月続けて改善するなど緩やかな持ち直しの動きが継続している。

【観光】観光客数、宿泊客数ともに前年同月を上回っている

○観光は、9月は前年と比較し、1ヶ月を通し降水日が少なかったことや、テレビや映画等で話題になった施設への入込客数が多く、全体として前年同月を上回った。

【資金繰り】資金繰りは悪化しており、小規模企業には厳しい状況が継続

○企業の資金繰りは、借入難易感DIは金融機関の積極的な融資姿勢から、借入しやすい状況が継続。一方で、資金繰りDIは悪化しており、事故報告件数が前年同月比で3ヶ月連続で増加、倒産も相応に発生するなど、小規模企業には厳しい状況が継続。

【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感の拡大が継続している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は引き続き改善している。但し、大手志向の強まりや、求人と求職のミスマッチ等により、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化しているとともに、人件費の高まりが収益を圧迫し始めている。